

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)

【公開番号】特開 2019-17909 (P2019-17909A)  
 【公開日】平成 31 年 2 月 7 日 (2019.2.7)  
 【年通号数】公開・登録公報 2019-005  
 【出願番号】特願 2017-141602 (P2017-141602)  
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 6 月 20 日 (2019.6.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

可変表示を行い、可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

遊技者が操作可能な操作手段を備え、

所定状況において、遊技者の操作によって複数種類の項目の中から 1 の項目が選択可能であり、選択された項目に対応した演出を実行するもので、

遊技者が選択可能な項目として、前記有利状態中に所定条件が成立した場合に新たに選択可能となる所定項目と、前記所定条件が成立していなくても予め選択可能とされている通常項目と、を含み、

前記所定条件とは異なる特定条件が成立した場合にも、遊技者が選択可能となる特定項目を新たに増加させることが可能であり、

前記所定条件が成立したことにより前記所定項目が新たに増加したときに、遊技者が選択可能な項目の初期位置を、前記所定項目に設定することが可能な設定手段と、をさらに備える、

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(A) 本発明に係る遊技機は、可変表示を行い、可変表示の表示結果が特定表示結果となったときに、遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、遊技者が操作可能な操作手段を備え、所定状況において、遊技者の操作によって複数種類の項目の中から 1 の項目が選択可能であり、選択された項目に対応した演出を実行するもので、遊技者が選択可能な項目として、前記有利状態中に所定条件が成立した場合に新たに選択可能となる所定項目と、前記所定条件が成立していなくても予め選択可能とされている通常項目と、を含み、前記所定条件とは異なる特定条件が成立した場合にも、遊技者が選択可能

となる特定項目を新たに増加させることが可能であり、前記所定条件が成立したことにより前記所定項目が新たに増加したときに、遊技者が選択可能な項目の初期位置を、前記所定項目に設定することが可能な設定手段と、をさらに備える、ことを特徴とする。

(1) 他の遊技機は、遊技者が操作可能な操作手段を備えた遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1 等）であって、所定状況において、遊技者の操作（例えば、プッシュボタン 3 1 B やスティックコントローラ 3 1 A の操作等）によって複数種類の項目の中から 1 の項目が選択可能（例えば、複数種類の楽曲の中から 1 の楽曲が遊技者によって選択可能等）であり、選択された項目に対応した演出を実行するもので（例えば、選択された楽曲の映像及び演奏を出力する等）、遊技者が選択可能な項目として、所定条件が成立した場合（例えば、大当り遊技状態の連荘数が増加した場合等）に新たに選択可能となる項目（例えば、2 連荘目時には、「楽曲 B 1」「楽曲 B 2」「楽曲 B 3」の 3 曲の楽曲を新たに解放する等）と、前記所定条件が成立していなくても予め選択可能とされている項目（例えば、2 連荘となっていなくても、予め「楽曲 A 1」「楽曲 A 2」「楽曲 A 3」「楽曲 A 4」「楽曲 A 5」「楽曲 A 6」「楽曲 A 7」の 7 曲の楽曲が解放されている等）と、を含み、前記所定条件とは異なる特定条件（例えば、「C 2 リーチ」などの特定のリーチ演出が実行されて大当り遊技状態が実行される等）が成立した場合にも、遊技者が選択可能となる項目を新たに増加させることが可能（例えば、2 連荘目に「C 2 リーチ」が実行されて大当り遊技状態が実行された場合に、「楽曲 B 1」「楽曲 B 2」「楽曲 B 3」の 3 曲の楽曲のほか、「C 2 リーチ」に対応する「楽曲 C 2」の楽曲を新たに解放する等）であることを特徴とする。